



利用者の作品が並ぶ会場——みくらピアで



豊橋市障害者福祉会館「みくらピア」3階大会議室で、館の利用者らの作品約200点を展示する「豊障連みくらピア文化祭」が開かれている。連日、来館者が仲間の作品を楽しんでいる。21日まで。

【田中博子】

### 絵画や陶芸など多彩 自主製品の販売も

豊障連各団体や館内の文化教室、サークルによる手工芸やパステル画、書道や口書きを折り織り、七宝焼き、陶芸、寄せ植え、写真、折り紙など、

豊橋障害者(児)団体連合協議会(豊障連)の文化祭では毎年、利用団体や館内での文化活動などに励む人たちが、日頃の活動の成果をステージ発表や展示で披

# 施設利用者の文化活動PR

6日間開催 昨年に続き 力作並ぶ豊橋・みくらピア

ステージ発表は見送り

日替わりの見に来られる人も多いため、展示は6日間の日間開くことと考

## ↑ 東愛知新聞

⑦ 11月18日(木) 2021年(令和3年) 第3種郵便物認可 東日新聞



### 心を込めた作品ずらり 21日まで活動の成果を披露

豊障連みくらピア文化祭

豊橋障害者(児)団体連合会の文化祭が21日まで、豊橋市東新町の市障害者福祉会館「みくらピア」で開かれている。会場には利用者

が飾られている。16日に社会見学で訪れた市立向山小学校の児童らは、熱心に見入っていた。文化祭は連合会の恒例の行事。バザーや模擬店、カラオケなどが予定されていたが、新型コロナウイルスを考慮して作品展だけにした。担当者は「利用者が取り組んできた成果を見てほしい」と来館を呼びかけている。

(大林恭子)

2021年11月18日(木)

## ← 東日新聞